

京城新報

民を尊重せる政策を把持せるを了解して深く公の歸任を歡迎し、今や群雄漢域に割據し、策士高官の門に雲集して、政界の變遷を豫期しつつあり、知らず此時代は如何に開展せらるる乎、我在韓同胞は滿目の注意を拂らいつゝあり、

惠洞に於て首魁英泰三の率ふる暴徒數百名と衝突し激戦の後之を茄佐坊方面に潰せしめたり此の戦鬪に於て賊は死者二百名者十數名を出せり尙同一行は同郡宇

數名を出せり尙同

▲平山の衝突
に明け急行せり(廿八日江界發)
二十六日午前十一時三十分、浦瀨兵分隊
所上等兵五名、東約二里北斗山の中腹にて
賊六十名衝突し、其十二を殲じ、水繩銃七

衝突し其十一を破

二十八日午前二時、咸鏡南道咸興砲兵隊購買せんとし多數の堆積せる薬へ放火たる賊徒あり其内の一名は逮捕し取調又右の放火の爲め砲兵宿舍二個を焼く廿八日咸興發

成興發

李花紋緞 二疋 銀巾環 壹件
 ●大臣會議 昨午午後一時統監官邸
 於て各大臣參集し會議を開かれたり
 ●道書記官會議 (第二日第三日)

(第二)

を返したりと此賊徒は長崎郡地方を徘徊する新成五郎邸下にして約三十名と有す

業に熱心盡力したる者に對し

會せり而して日本は參與官會議の當日なるを以て木内次官は會議半ばに退席し松井局長次いで議長席に就けり因みに明日は土木局主管事務に關する諮問會に於て午前十時半より開會す

●新聞紙法改正

受方各報強奪利の如きも日本郵政私營論に於て各別黨派の主張を以て論議するに試みたことの狂言に過ぎず第一に我が本報も同意なるの狂言に過ぎず例に如く我方が敢にして只管之を打破せんと種々の妨害を内外より受けたるも之れが如きは川冲に波立つた船も必死の活動時に以て隨分激しい一島を占領せしは仁川沖にある一島を占領せしとする迄の亂暴を演じ兎角一島を占領せんとする迄の亂暴を演じ兎角

到する各自の意見を述べ午後

是驛さのむ、非常に大ききとして、何の利益なかりしは三井に取りては實に氣の毒千萬の次第なりしもの、要するに當時各列強利權の爭奪最も甚敷、故に艦隊嶺込に付ても二三の列強中必死の運動に着手したる者もあり殊に當時陸海軍事に關し他國より此國に關係する手邊を事とし、其事は我國司管に於て最も

外國にて發行する國文

納めて物を賣て其生代金が採れないことが
 嫌つて居つたから韓廷との商賣はある處へ勉
 めなかつたのであるも併し商賣のある處へ餘
 り冷淡に構へたるもの如何と思ひ後れ馳せな
 かる物を賣進む前にまづ買ふ事を案出した
 のである、ソコデ人參などを韓廷から買ふ
 様にしたのである、まづ先方から二三百萬圓

訴訟費用百萬圓追加の件裁可せ

將國の極貧に於ける政府の束手となりたるなり
 其は困難なるに思ふに今日の有様は商賈に
 此のドンソコに在るものなるに決し
 無かるべしと信ず政治其他の事にして整

小田市氏留別也

地へ金を落したに落した金を拾つたシヤ
タル人が大に利益を得たのである今、シ
ヤタル人に行つて見ると學校道路が皆其賄
冒險者から落された金に仍て立派に出来て
居るのである、朝鮮に於ても然りて之は常
地の小商人旅館や料理屋などは朝鮮熱に
つて集る内地人から金を探つて居るのであ

るを知り之れを助力成立せし
は忽ち他より之れを排撃し其

る魚漁は近年になき盛況を呈し居ることば
既限せし所なるが昨日鰻島より二川に入港

切である、而し愈此破屋を作

●**京城衛戍病院** 況
記者昨日京城衛戍病院を訪ひたるが同院
の事は自分云ふより大抵は判つて居るの
で、頭には我經濟部會は常に公平の
態度を保持して韓經濟の諸問題を研究し時々
公ねん意見を發表するに官民指導の任務を盡
さん云ふことが切望の至りに堪ざるなり

交戰約二時間にして殆んど機帶傷を射盡し
若戰の後三名共負傷遂に坪井水戸の二名は
其場に戰死永井は負傷午後二時辛うじて
歸所せり依て藤島憲兵伍長は直ちに憲兵十
等兵二巡査を率ひ現場に急行してに賊機
向ふ山上に在りて頑強に抵抗し約三時間空

にして貰いたいのである、其

公が三大條件の**一**は斯る事が**初**事
り**と**せば統監政治は根底よりの失敗也
皇の出現を請はざれば暴徒の鎮壓は
か庶民保護統治の威嚴何くにある
状態にては**太**皇統引承は思も奇ろ

州、春州、溫陽、鎮海灣、

皇暴徒鎮定の受令も怪しい之が事實
らは唾眉御用心が肝要ならぬ如是我聞
根前統監三和港到着の際郡守等人民
迎を更に應ぜずと何たる失態ぞ

ものあり斯かる病兵には院内

不乗 駿馬閣出發の報知ありて宋君歸來
 傳百出噂では既に度々歸城せり面黒し
 不公 も未だ斯く噂に上るだけ多少の勢
 あり 歸來策は伊公に對し何事を策する乎

最も喜ぶ寄贈品 煙草、菓

不得要領居士も近來頻に苦悶煩惱せると
實業家舉て現閣の賊政に反對して如
に樂天家なる松田正久も逃出さんと云ふ
林董外相亦攻撃の火の手盛にして自ら
決するの止むなきに至ると疾く所決せよ

日露戰爭以後一層軍

10

時間ヒトケなつても音沙汰オコサタがない腹はらはへ
て手てを叩たたく勇氣いさけもなくなつた
チョンガー朝鮮チョンヤンのスリチビは客きやく
を持つて居ゐるから阿時アジでも用よう意い

●戦死技手葬儀 高州に於て戦死したる統監府水産技手の遺體は火葬に附し一昨日同地に於て葬儀を行はれたるに官民の會葬者多數にて頗る同情を表せし

◀荷着地

高等洋服新調

▲夏物地着荷▼

電話七二一番

富田屋支店

◀荷着地

桃や櫻の花は今を盛りと咲き亂れ柳は緑り青山の眺は得
も云はれぬ折柄世の粹客様方御散歩のつれ／＼是非に駕
を枉させられたしとなん

待合
貸席
青
山

京城南山町二丁目

●内科 ●小兒科

金
 四二六八八〇〇 四一〇〇〇
 大
 意隨
 外●
 眼科●花柳病
 京城南山町三丁目
 吉田病院
 廣
 告
 入
 並提燈
 京城明治町一丁目
 大島商店
 金

寄附金募集期間は本月二十三日より五月十日迄とす
寄附一口金五圓とし一口に對大福引繪葉書(福引番號は繪
せり)一根(五枚を送呈す)
但し五圓以下でも難い之を受け前記一圓に一枚を贈
便宜大福引付繪葉書は寄附金受領と同時に本會々印及會長印押捺受領證添へるを贈呈
大福引付繪葉書は各等々に相當の之を贈
總額を一万五千圓とし各等に空籤なし
福引抽籤は来る五月十八日を以て之を執行す

明治四十一年四月

仁川開港二十五周年纪念

五月一日より向五日間
仁川歌舞伎座に於て

京都横田商會

仁川

活動大寫眞

歌舞伎座

全日本銀行の歴史

生員之徒

味噌醬油製造	大連・大港・牛莊行	五月十四日	後一時出
乾物荒物罐詰	山東・九	五月廿六日	前五時出
銘茶食料雜貨	酒田・九	五月廿八日	後一時出
日本澤庵	釜山・元山・南浦・西浦・行	第一・二・三・四・五・六・七・八・九・十・十一・十二・十三・十四・十五・十六・十七・十八・十九・二十・二十一・二十二・二十三・二十四・二十五・二十六・二十七・二十八・二十九・三十・三十一・三十二・三十三・三十四・三十五・三十六・三十七・三十八・三十九・四十・四十一・四十二・四十三・四十四・四十五・四十六・四十七・四十八・四十九・五十・五十一・五十二・五十三・五十四・五十五・五十六・五十七・五十八・五十九・六十・六十一・六十二・六十三・六十四・六十五・六十六・六十七・六十八・六十九・七十・七十一・七十二・七十三・七十四・七十五・七十六・七十七・七十八・七十九・八十・八十一・八十二・八十三・八十四・八十五・八十六・八十七・八十八・八十九・九十・九十一・九十二・九十三・九十四・九十五・九十六・九十七・九十八・九十九・一百	後三時出